

“輸送コスト”と“災害リスク”の軽減が気になる経営者様へ



お持ちのディーゼルトラックに  
LPG<sup>(ガス)</sup>添加システムをプラス!

経済的&災害に強い!

軽油 + LPG デュアルフューエル

トラックとは!?

特にLPガス業界から注目されています



軽油 + LPG このような方にオススメします

- ✓ LPガスを配送される事業者の方
- ✓ 東日本大震災時に、燃料不足で困った経験がある方
- ✓ 三菱ふそう キャンター／ファイター運行中の方
- ✓ 燃料費を削減されたい事業者の方



2トン車系キャンターは近日試験販売、4トン車系ファイターは開発中です。  
(ただし、対応車種は三菱ふそうに限ります)

\*デュアルフューエルトラックは、現在お使いの使用過程車に対応いたします。  
ただし車種・搭載エンジンに限定がありますのでご注意ください。

●車種・・・平成27年3月1日以前に登録された使用過程車

1. 三菱ふそう製キャンター／キャンターEX  
ただし、エンジン形式が4P10・3000CCエンジン搭載車(出力150馬力(T4))に限る。
2. 三菱ふそう製ファイター(開発中)  
ただし、エンジン形式が6M60・7545CCエンジン搭載車(出力240馬力(T1))に限る。

●改造納期・・・車両をお預かりして約1ヶ月

詳細については、城東自動車工場までお問い合わせください。

LPGとディーゼルのデュアルフューエルトラック委員会



だるまエナジー株式会社  
〒105-0012 東京都港区芝大門2-8-16 島倉ビル3階  
TEL/FAX: 03-6435-8920  
ホームページ: <http://www.darumanergy.com>



株式会社 城東自動車工場  
〒130-0022 東京都墨田区江東橋2丁目3番5号  
TEL 03-3634-1701 FAX 03-3631-3552  
ホームページ: <http://www.joto-garage.co.jp/>

平成27年度 経済産業省補助事業 (石油ガス販売事業構造改善事業に係るもの)  
『オートガス需要拡大のための中型ディーゼルLPガス混焼トラックの実用化事業』

← マンガの続きは中面をご覧ください



# さらに! 3つの安心実績

安心その1

船舶などで実用化しているシステム



デュアルフューエルシステムは船舶用・産業用の超大型エンジンで開発された技術で、既に実用例も多数あります。これをトラック用に独自に小型エンジンに適用するための開発をしたものです。

安心その2

LPGスタンドは全国に1,500ヶ所



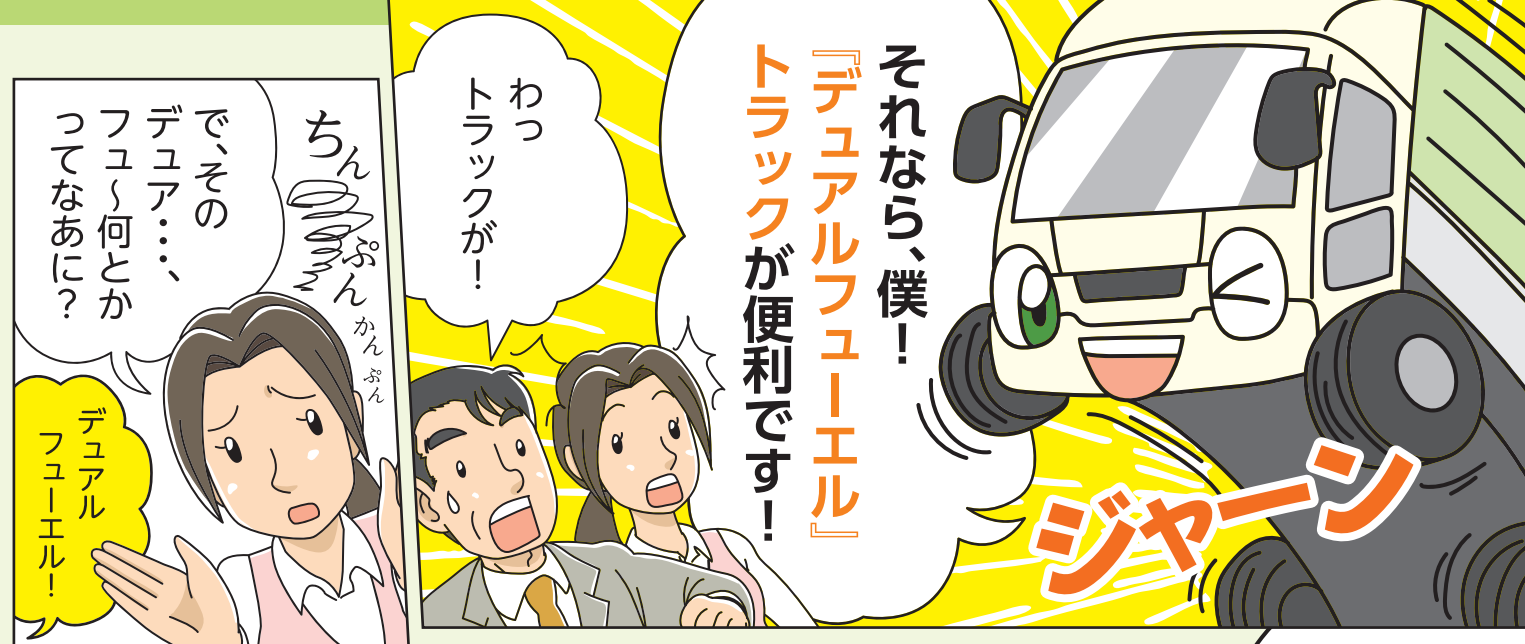
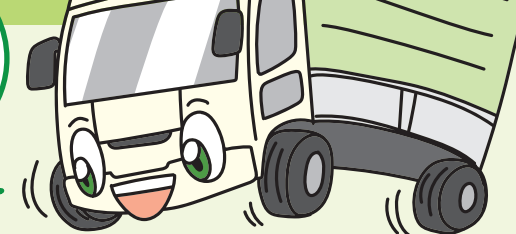
LPガススタンドは全国都道府県の各主要都市を中心として約1,500ヶ所設置されているほか、教習所や法人の営業所などユーザーの敷地内に比較的低コストで設置できる「簡易型LPガススタンド」の普及も進んでいます。

安心その3

精密なデータ測定 シャシーダイナモ



大手自動車メーカー・行政等が燃費を測定するのに使う機材を使ってデータを取得。城東自動車工場が所有する「シャシーダイナモ」で様々なデータを測定しながら燃料費が最も削減できるように調整しています。



## これが『デュアルフューエル』だ!!

(二元燃料)

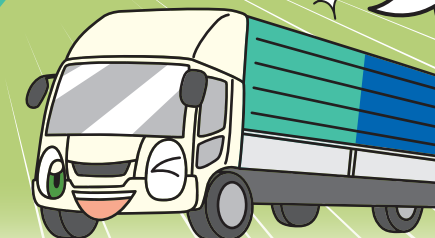
新車購入は不要! 今お持ちのトラックを改造します

軽油のみ  
で走る

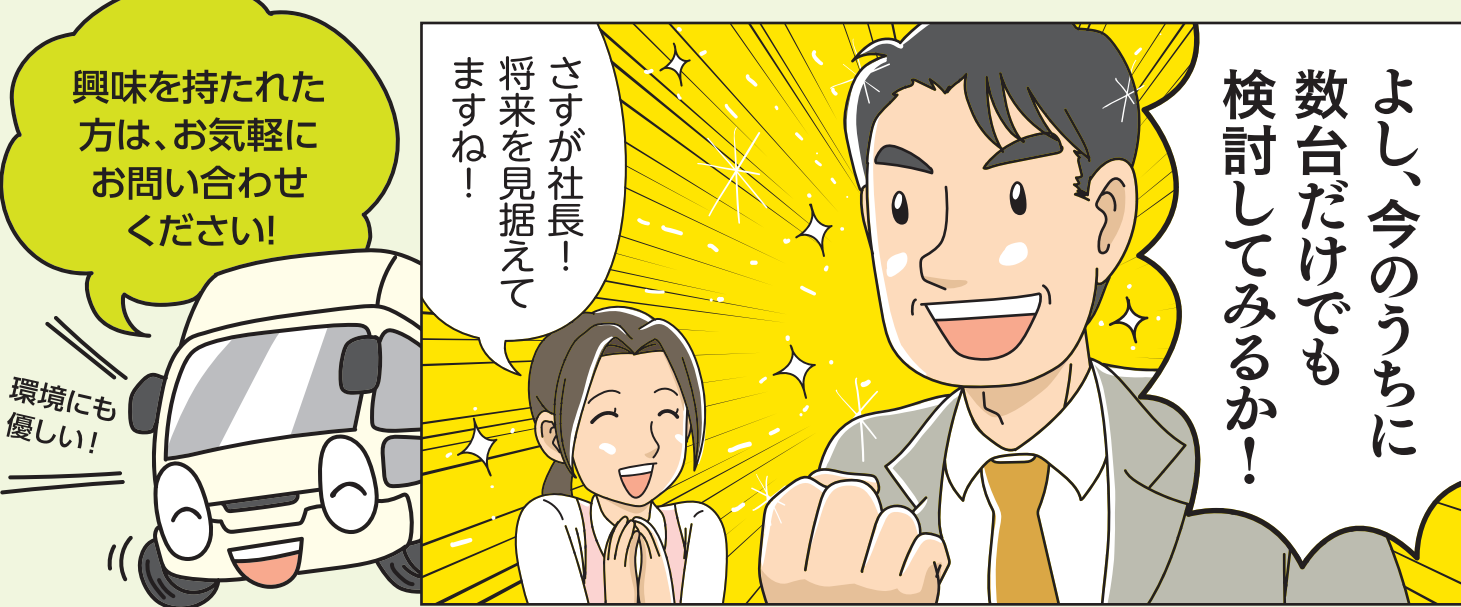
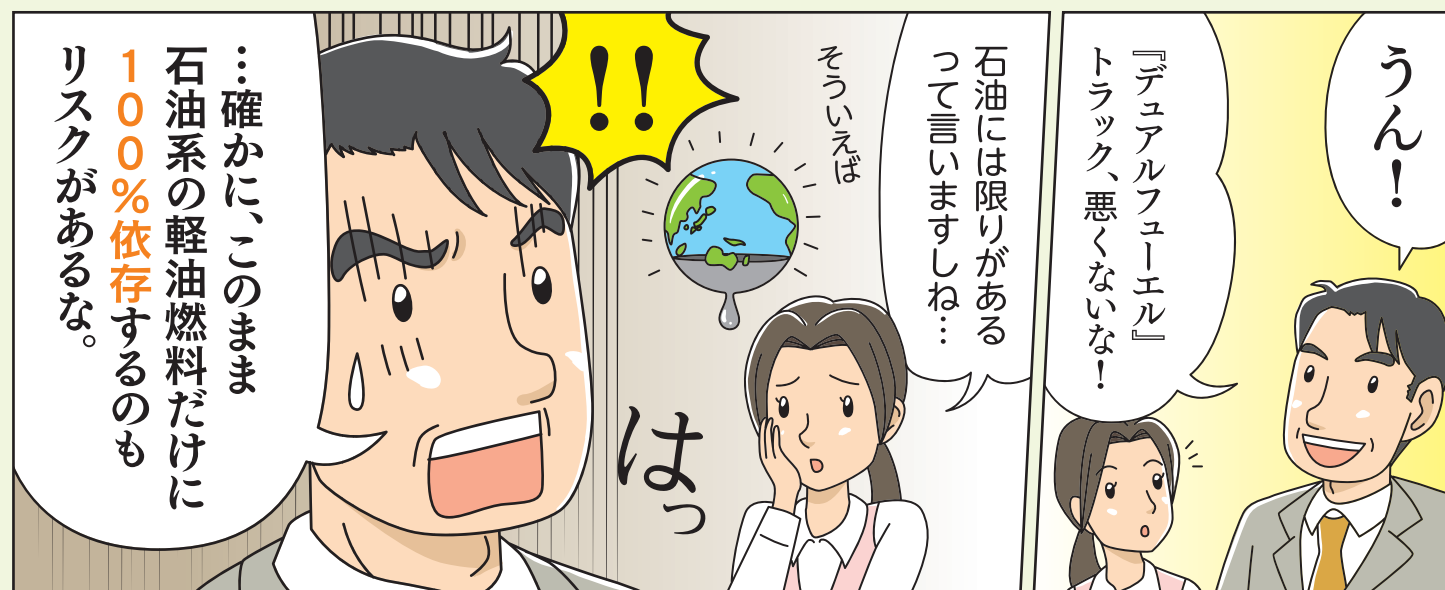
スイッチ1つで  
切り替え自由!

軽油+LPG  
混合で走る

なるほど



今あるディーゼルトラックにLPG添加システムを付けた「石二鳥のトラック」が僕なんです。



燃料費を  
低減できる!

デュアルフューエルエンジンは、軽油とLPガスを同時使用する事により、軽油の使用量を減らすことが可能となります。燃料費も軽油より安いLPガスを使用することにより通常のディーゼル車よりも燃料費を削減することが可能です。

燃料を  
使い分けられる!

災害などで軽油が入手が難しい時でも、LPGを追加使用して走行距離をのばせるため、非常時の燃料問題にも対応可能です。スイッチひとつで軽油のみ使用できるエンジンに変更できるため、LPガス燃料装置が故障した時やLPG燃料がない場合でも、業務に支障が出るようなアクシデントを防ぐ事ができます。

ディーゼルエンジンに  
後付けできる!

従来の代替燃料車は、エンジン全体を変更・改造する必要がありましたが、デュアルフューエルエンジンはベースとなるディーゼルエンジンを活かした形となっています。デュアルフューエルエンジンは従来のディーゼルエンジンのトラックに、LPガス燃料装置を追加すれば使用が可能で、ディーゼルエンジンには一切手を加える必要がありません。